

JR連合への総結集と  
労使の信頼関係構築へ全力をあげ  
職場からの安全確立  
政策課題の解決・前進を図ろう!

http://www.jr-rengo.jp



# JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

**日本鉄道労働組合連合会**  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階  
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848  
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849  
1部20円 (但し組合費に含む)  
●発行者 荻山市朗 ●編集者 宮野勇馬

facebook  
JR連合

(旧twitter)  
JR連合



2024春季生活闘争の4本柱について所見を述べる芳野会長

連合は10月30日、千葉  
県浦安市において、連合2  
024春季生活闘争中央討  
論集會を開催した。集會に  
は各差別・地方連合会の代  
表者や関係団体などからオ  
ンラインを含め総勢552  
人が参加した。冒頭、  
連合の芳野友子会長は、2  
023春季生活闘争につい  
て、政労使の認識の一致、  
2024春季生活闘争の4本柱について所見を述べた。

事務局長から提起された基本構想では、人への投資を起点として経済の好循環を力強く回していくことをめざし、賃上げを継続させ、経済・賃金・物価も安定的に上昇する経済社会へのステージ転換を図る正念場と基本スタンスが示された。

## 「人への投資で報いることは企業の責務」と主張

社会機運の醸成、加盟組合の真摯な交渉による成果だと振り返り、2024春季生活闘争の柱として①前年を上回る賃上げ、②価格転嫁の確実な実施、③政策制度の実現、④ジェンダー平等・多様性の推進の4点について所見を述べた。

事務局長から提起された基本構想では、人への投資を起点として経済の好循環を力強く回していくことをめざし、賃上げを継続させ、経済・賃金・物価も安定的に上昇する経済社会へのステージ転換を図る正念場と基本スタンスが示された。



住吉労働政策局長

また、前年を上回る賃上げをめざすとして、「賃上げ分3%以上、定昇相当分を含め5%以上の賃上げを目標とする」とが示された。全体討論では、JR連合から住吉一家労働政策局長が発言に立ち、「組合員の努力に対して賃上げをはじめとする人への投資で報いることは企業の責務」と主張し、JR連合における闘争方針の中心に据える考えを示した。そして、賃上げの流れを創り上げるためには社会基盤整備も必要であり、特に労務費を含めた価格転嫁の視点が重要であること、建設業における2024年問題は、社会基盤に係る産業横断的な課題であり、特定の産業に限られた問題ではないことなどを主張し、連合に対して価格転

「十分な分配と働き方の見直しを通じた産業の魅力向上を図るため、加盟96単組がワンチームとなって取り組み、産業の発展と組合員の幸せの実現をめざす」と決意を表明した。

なお、連合は12月に開催する第91回中央委員会において2024春季生活闘争方針を決定することとしている。

自動車連絡会は11月1日、札幌市内において第31回総会を開催した。全国からJRバス産業で働く仲間が集まり、バス産業が陥っている危機的状況を乗り越えるべく議論を交わした。

冒頭、挨拶に立った矢田尊弘代表幹事（JR西労組 西日本JRバス地本執行委員長）は、「バス産業は深

「コロナ禍で課題が顕在化し、地域公共交通は転機を迎えている。再構築協議会でのモード転換やライドシェアに関する議論も取り沙汰されておられ、注視する必要があり、注視が必要がある」と課題提起したほか、2024春季生活闘争強化・拡



自動車連絡会第31回総会

最後に、貨物鉄産労からの推薦を受け、連絡会幹事に藤枝隆博秋田市議を選出するとともに、中田代表幹事を再選する新体制を確立した。

JR連合の主張を説明し、各議員に対し、都道府県訪問の取り組みや議会における発言等の取り組み要請を行った。

最後に、貨物鉄産労からの推薦を受け、連絡会幹事に藤枝隆博秋田市議を選出するとともに、中田代表幹事を再選する新体制を確立した。

システムの活用状況、6年前に新設された整備工場での安全対策等を視察した。視察後は、じょうてつバス、私鉄総連北海道地方労働組合・同定山溪鉄道支部との意見交換を開催し、安全教育の内容や2024年4月から適用開始となる改善基準告示への対応状況、人手不足解消に向けた採用・人事運用の取り組み、DX推進の課題等について情報共有した。

自動車連絡会は、魅力あるバス産業の実現やJRバス労働者の処遇改善に向け、全国の仲間とともに一丸となつて取り組んでいく。

じょうてつバス整備工場を視察

## 21世紀の鉄道を考える議員フォーラム第19回総会 政策課題の解決のみならず 組織課題の解決へ



JR各社の連携に向け汗をかこうと訴える榊葉会長

補選当選を経て広田参議院議員が再加入  
11月16日、JR連合の政策活動をはじめとする各種活動に賛同し連携する国会議員で構成された21世紀の鉄道を考える議員フォーラム第19回総会を開催した。総会には榊葉賀津也会長、泉健太副会長、伴野豊副会長、小川淳也事務局長をはじめ、衆参40人を超える国会議員が出席し、終了後は4年ぶりとなる懇親会も開催した。

事務局長からは、人財不足を含むJR産業の現状を説明するとともに、物流業・建設業の「2024年問題」や持続可能な地域公共交通やカーボンニュートラルの実現に係る諸課題、組織課題等についても説明し、各議員に対して具体的な取り組みの展開における連携を要請した。議員側からもモーターシフト支援等、複数の意見が出され、活発な質疑応答となった。最後に榊葉会長は、「課題解決に向け、各議員からもJR各社の横連携にお力添えを頂きたい」

今次総会では、過去に議員フォーラムの役員を務めていた、広田一氏（10月22日の参議院議員補欠選挙において当選）を再び本フォーラムに迎えることを確認し、衆参55人（衆34人、参21人）の新体制を発足させた。



JR連合とのより一層の連携を促す中田代表幹事

地方議員団連絡会総会  
初当選地方議員も参画  
同日、地方議員団連絡会第29回総会も開催し、代表幹事の中田利幸米子市議をはじめとする連絡会役員および各議員団会議の代表者が出席した。初当選の宇田川祐治杉並区議（JR東海ユニオン議員団）や坪田晋福岡県議（JR西労組議員団）をはじめ、本年4月の統一地方選挙で当選を果たした議員らは、各単組役員・組合員らの支援に対する感謝の言葉を述べた。

総会では、当面する政策課題、とりわけ改正「地域交通法」に係る改正経過や

## 年末手当JR7単組で妥結

JR7単組では、11月27日までに2023年年末手当交渉を全単組で妥結した（年間臨給で春に妥結している単組を含む）。コロナ禍からの回復に伴い、業績を伸ばす会社もある中、組合員の期待は大きく、これまでの組合員の負託に応えるべく、各単組は鋭意交渉を進めてきた。

JR各単組の妥結状況は下表。全単組で昨年を上回る成果を得た。

単組名	2023年		2022年	
	要求日	妥結日	要求日	妥結日
JR北労組	10/25 28ヶ月 12/14支払	11/27 194ヶ月 12/14支払	11/25 25ヶ月 12/14支払	11/25 17ヶ月 12/14支払
JREユニオン	10/23 30ヶ月 12/4支払	11/10 265ヶ月 +5万円 12/4支払	11/11 245ヶ月 12/2支払	11/11 24ヶ月 +2万円 12/5支払
JR東海ユニオン	10/12 30ヶ月 12/8支払	11/9 295ヶ月 12/8支払	11/10 29ヶ月 12/9支払	11/10 27ヶ月 12/9支払
JR西労組	(2/6)	(年間50ヶ月)	(年間42ヶ月)	(年間40ヶ月)
JR四国労組	10/17 21ヶ月 12/7支払	11/24 165ヶ月 12/7支払	11/24 18ヶ月 12/7支払	11/24 143ヶ月 12/7支払
JR九州労組	9/29 30ヶ月 12/8支払	11/17 23ヶ月 +0.2ヶ月 12/8支払	11/29 25ヶ月 12/9支払 55歳以上の加算給付	11/29 19ヶ月 12/13支払
貨物鉄産労	10/16 288ヶ月 (年15ヶ月で夏季手当との差)	11/17 163ヶ月 12/7支払	11/18 278ヶ月 (年15ヶ月で夏季手当との差)	11/18 163ヶ月 12/9支払



経済 経済 経済

返ってきませんよ

まっせよ

返ってきませんよ

まっせよ

またJR産業内に潜む革マル派勢力の蠢きと非民主的な取り組みを踏まえ、組合員を守りながらも実態を把握し奮んだ行動を正していく民主化闘争強化の必要性を訴えた。さらには、黄線区問題を含む地域公共交通や、北海道新幹線の延伸に伴う函館本線の人流・物流、JR北海道・JR貨物の経営自立にまつわる課題をあげ、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムや地方議員団連絡会に所属する議員との連携を行い、責任ある政策・政治活動を進めていくことの重要性を訴えた。

### 女性役員意見交換会 第4次男女平等参画 推進行動目標の達成へ

連合ジェンダー平等推進中央集會に参加



10月27日、東京都内において、第16回女性役員意見交換会を開催した。5単組13人の女性役員等が参画し、さらに日本の鉄道産業界の女性の働き方について研究する立教大学経済学部の朴峻喜助教からも出席いただいた。

JR連合が策定した「第4次男女平等参画推進行動

目標」の達成に向け、各単組では継続的に各級機関で女性役員を選出し、それぞの組合員比率に応じた女性役員を選出することが求められている。

参加単組からは、女性3人が1人体制であったところを2人に増やし、就任時期をずらすことで経験のある役員が新人役員を教育することができるとの体制を自組織で整えたことなどが報告された。

また、そもそも女性社員が少ないことが女性役員選出を難しくしている根本的な要因であり、各単組において、各系統で偏りのない採用を求めていく必要がある旨事務局からも提起した。

当日は、2023連合ジェンダー平等推進中央集會が都内で開催され、JR連合からも参画し、基調講演・パネルディスカッションなどから、他組織の取り組みや今後の課題等、多くの知見を得た。

参加者は、本集會で得た知識や感じたことを単組に持ち帰り、今後の活動に活かしていくことを誓い合った。

### 3産別共同行動 コロナ禍対応において 生じた課題と教訓を抽出

～航空連合・サービス連合と連携～



10月23日、JR連合、航空連合およびサービス連合の3産別は、これまでの共同行動を振り返り、コロナ禍への対応において発生した課題や教訓を抽出すべく、合同会議を開催した。

JR連合からは萩山会長、政務事務局長・石川産業政策局長が参画し、関連な討議を行った。

会議では、各産業の現況や課題、業界の事情等にかかる情報を持ち寄り共有す

るとともに、連合が参画している「新型コロナウイルス等対策推進会議」における議論や今後の政府政策に反映したい意見・教訓等について討議を行った。とりわけ、感染症によるパンデミック発生時に根拠なく移動を「悪」とし人流をストップした政策には共通して強い問題意識を持つことを再確認した。指定公共機関として事業継続を求められる事業者への支援措置の必要性などが、主たる意見としてあげられた。

今後、3産別は連合や交連労協との間で課題認識を共有するとともに連携を強化し、産業で働く者を守り、産業の回復・発展に繋がる政策の推進に繋げていく。また、人材流出や深刻な人手不足といった共通課題に

性などが、主たる意見としてあげられた。

今後、3産別は連合や交連労協との間で課題認識を共有するとともに連携を強化し、産業で働く者を守り、産業の回復・発展に繋がる政策の推進に繋げていく。また、人材流出や深刻な人手不足といった共通課題に

化し、産業で働く者を守り、産業の回復・発展に繋がる政策の推進に繋げていく。また、人材流出や深刻な人手不足といった共通課題に

向き合い、アフターコロナを視野に入れつつ、産業を担う人材の確保等に向けた取り組みや情報交換を継続して行っていくことを確認した。

また、建設業に係る2024年問題についても議論が深められ、今後の課題を出席者で共有した。

人口減少局面にはあるものの、高



10月27日、東京都内において、第16回女性役員意見交換会を開催した。5単組13人の女性役員等が参画し、さらに日本の鉄道産業界の女性の働き方について研究する立教大学経済学部の朴峻喜助教からも出席いただいた。

JR連合が策定した「第4次男女平等参画推進行動

業種間安全検討会、JR以外の産業・企業における安全確立の取り組みを虚しく、今回は日本の産業における安全衛生活動を常により続けてきた鉄鋼業界の取り組みを学ぶべく、日本基幹産業労働組合連合会・日本製鉄鹿島労働組合にご協力いただいた。冒頭、JR連合を代表して萩山会長より「安全最優

先、安全確立を最重要課題と位置付け、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を掲げて取り組んでいる。私たちが働く者の安全を守ることがひいては鉄道全体の安全確立に繋がると確信している。今日のこの機会を活動にも活かしていきたい」とJR連合の取り組みを述べた。

東日本製鉄所鹿島地区は、広大な敷地で協力的な働き手を含め多くの人



10月29日、北海道地方協議会は、札幌市内で第5回定期委員会を開催し、向こう1年間の活動方針を決定し、諸活動を力強く展開していく決意を固めた。冒頭、昆弘美議長(JR北労組中央執行委員長・JR連合副会長)が挨拶に立

ち、直近の災害被害や自然災害に触れ、これらに常に晒される中で業務遂行や労働組合諸活動の推進・尽力に対して敬意と謝意を示しつつ、安全確立の意識を職場から主体的に創り上げる取り組みを推進していく決意を述べた。

またJR産業内に潜む革マル派勢力の蠢きと非民主的な取り組みを踏まえ、組合員を守りながらも実態を把握し奮んだ行動を正していく民主化闘争強化の必要性を訴えた。さらには、黄線区問題を含む地域公共交通や、北海道新幹線の延伸に伴う函館本線の人流・物流、JR北海道・JR貨物の経営自立にまつわる課題をあげ、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムや地方議員団連絡会に所属する議員との連携を行い、責任ある政策・政治活動を進めていくことの重要性を訴えた。

質疑では、黄線区問題の政府支援や会社の動向、アポイント・コストルにまつわる問題の解決等に係る発言・応答、情報共有が行われた。

役員選出では、昆弘美議長をはじめとする役員候補の

質疑では、黄線区問題の政府支援や会社の動向、アポイント・コストルにまつわる問題の解決等に係る発言・応答、情報共有が行われた。

役員選出では、昆弘美議長をはじめとする役員候補の

速鉄道・新幹線ネットワークを拡充することが、国土の均衡ある持続的な発展に繋がることは、これまでの新幹線整備の実績からみても明らかである。

JR連合と鉄構労は、引き続き密に連携を行い、高速鉄道・新幹線ネットワーク構築の有用性を訴えていくこととする。

また、そもそも女性社員が少ないことが女性役員選出を難しくしている根本的な要因であり、各単組において、各系統で偏りのない採用を求めていく必要がある旨事務局からも提起した。

当日は、2023連合ジェンダー平等推進中央集會が都内で開催され、JR連合からも参画し、基調講演・パネルディスカッションなどから、他組織の取り組みや今後の課題等、多くの知見を得た。

参加者は、本集會で得た知識や感じたことを単組に持ち帰り、今後の活動に活かしていくことを誓い合った。

### 「ご安全に」業種間安全検討会 労災事故防止の取り組みで 知見を共有

10月26日、日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区を訪れ、第16回業種間安全検討会を開催した。安全対策委員14人が出席し、労災事故防止の取り組みなどを学ぶとともに意見交換を行った。

業種間安全検討会は、JR以外の産業・企業における安全確立の取り組みを虚しく、今回は日本の産業における安全衛生活動を常により続けてきた鉄鋼業界の取り組みを学ぶべく、日本基幹産業労働組合連合会・日本製鉄鹿島労働組合にご協力いただいた。冒頭、JR連合を代表して萩山会長より「安全最優

保の課題にも触れ、有意義な機会となった。

JR連合は、安全対策委員会を中心に、安全の取り組みを一層推進するとともに、今回の業種間安全検討会でも得られた知見を今後活かしていく。

またJR産業内に潜む革マル派勢力の蠢きと非民主的な取り組みを踏まえ、組合員を守りながらも実態を把握し奮んだ行動を正していく民主化闘争強化の必要性を訴えた。さらには、黄線区問題を含む地域公共交通や、北海道新幹線の延伸に伴う函館本線の人流・物流、JR北海道・JR貨物の経営自立にまつわる課題をあげ、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムや地方議員団連絡会に所属する議員との連携を行い、責任ある政策・政治活動を進めていくことの重要性を訴えた。

またJR産業内に潜む革マル派勢力の蠢きと非民主的な取り組みを踏まえ、組合員を守りながらも実態を把握し奮んだ行動を正していく民主化闘争強化の必要性を訴えた。さらには、黄線区問題を含む地域公共交通や、北海道新幹線の延伸に伴う函館本線の人流・物流、JR北海道・JR貨物の経営自立にまつわる課題をあげ、21世紀の鉄道を考える議員フォーラムや地方議員団連絡会に所属する議員との連携を行い、責任ある政策・政治活動を進めていくことの重要性を訴えた。

### 役員紹介



貨物鉄道産業労働組合 (貨物鉄道中央本部) 書記長

期決算では、単体の経常利益は△21億円で、2024年3月の業績見通しは経常利益△15億円、当期純利益は△8億円を見込んでいます。

先を見れば青函トンネルの新幹線共用問題や北海道整備新幹線に伴う並行在来線問題、アポイントコストルルの改訂、直近では物流2024年問題があります。2024年問題は貨物鉄道輸送に追い風と言われています

私自身も民主化当該単組として、最前線に参画していく決意です。引き続きのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

が、JR貨物が世間に浸透しているかと問われると、受け皿になり得るとは言い難い状態です。

このような問題が山積しているなかで、健全な労働組合の構築と信頼に基づく労使関係の構築は必要不可欠であると考えています。JR貨物が抱えている問題は、箱根以東での課題と同様であり、民主化が達成されていない地域において、JR連合への総括集約なくして解決することは困難です。